

環境目標と実績

2001年度は、環境保全活動の範囲を山武単体から山武グループ全体へと広げました。具体的には、ISO14001認証取得範囲の拡大をはじめ、「山武グループ環境憲章」の制定、グループとしての環境管理体制の構築を重点的に実施しました。今後は生産拠点だけでなく、オフィスなど非生産拠点へも活動を広げ、グループ全体で環境パフォーマンスを改善していきます。

エネルギー消費では、環境負荷の割合が最も大きい電力消費量の削減について重点的に取り組み、前年度比で6.3%の削減を達

成しました。今後も環境パフォーマンスの数値目標の達成に向けて積極的に取り組みます。

また、環境配慮型の製品やサービスの開発をさらに促進していきます。環境に対して影響の少ない製品を生み出すためには、開発段階から環境に配慮した設計を行うことが求められます。そこで、ISO14021に準拠した環境ラベル認証基準を制定し、運用を始めました。2002年度からは環境ラベル認証製品について数値目標を設定して、量的な拡大を図っていきます。

= 達成 = 一部未達成 x = 未達成 - = 該当せず

区分	指標	2001年度の取り組みと実績	自己評価
環境マネジメントシステム	ISO14001認証取得拡大	山武ビルシステム認証取得(2001年12月) 大連山武機器有限公司認証取得(2001年12月)	
	環境リスクマネジメント	生産拠点における環境リスクの再点検実施	
	環境経営情報システム	主要生産拠点の環境負荷集計システムの構築 環境会計構築のため、専門部会を新設	
	環境コミュニケーション	環境報告書2001の発行・情報開示 環境ホームページのリニューアル・内容充実(社内外)	
	環境教育	階層別教育の実施 内部監査員のレベルアップ教育の実施 環境教育体系再構築のため、専門部会を新設	
	社会貢献	環境美化運動への参加 2件、工場周辺道路の清掃活動 環境貢献関連執筆 9件、講演実施 3件	
環境パフォーマンス	環境汚染防止	ジクロロメタン使用量の10%削減 1%削減(2000年度比) 鉛フリーはんだの第1段階導入計画の立案 PRTR指定化学物質の使用・排出状況の管理体制構築 環境汚染にかかわる近隣クレームゼロ	x x
	省エネルギー	電力消費量の3%削減 6.3%削減(2000年度比) CO ₂ 排出量の3%削減 7.3%削減(2000年度比)	
	省資源	廃棄物の再資源化率92% 85.9%	x
	ゼロエミッション	廃棄物の最終埋立処分量の10%削減 29%削減(2000年度比)	
	グリーン購入・調達	べんりねっとの導入(2001年10月:山武全社) 実績データの把握および購入エコ商品の品目拡充 グリーン購入ガイドラインの策定	
環境配慮製品・サービス開発の促進	環境ラベル認証製品売上高比率の拡大	2001年4月環境ラベル認証基準の制定、適用開始	-
	環境ラベル認証製品開発件数比率の拡大		-
	LCAの実施	LCA分析手法の試行	

LCA = ライフサイクルアセスメント

2002年度目標	中期行動計画(2004年度目標)	掲載P
山武産業システム認証取得(2002年9月予定) 山武本社+主要支店認証取得(2003年3月予定)	主要事業所および海外生産拠点すべてにおいて認証取得完了	9
各事業所で年1回環境影響評価手順に基づく評価を実施 異常・緊急事態リストの整備と対応訓練の100%実施	同左継続 同左継続	10
環境負荷集計システムの構築 環境会計情報システムの構築	化学物質データの一元管理システムの構築 環境会計の内容充実および精度向上	11
環境報告書の年1回発行・情報開示 環境ホームページの内容充実および定期更新	環境報告書の内容充実 同左継続	12
階層別教育プログラムの整備・実施 内部監査員のレベルアップ教育実施 全社員対象の環境教育実施	教育内容の充実・教育継続 環境にかかわる有資格者の養成 (環境測定 環境監査、エネルギー管理、公害防止等) 同左継続	10
各事業所で年に1度は地域の環境イベントを支援 環境貢献関連執筆・講演実施件数 12件	同左継続、環境ボランティア休暇制度検討と導入 環境貢献関連執筆・講演実施件数 15件	21
ジクロロメタン使用量の削減20%(2001年度比) 鉛フリーはんだの導入検討継続 PRTR指定化学物質の使用・排出状況の管理強化 社有車両のCO ₂ 排出量の把握 物流段階でのCO ₂ 排出量の把握 「使用済み製品部品」の回収体制実態把握 環境汚染にかかわる近隣クレームゼロ	ジクロロメタン使用量の削減50%(2001年度比) 鉛フリーはんだの導入 PRTR指定化学物質の削減20%(2001年度比) 社有車両のCO ₂ 排出量削減20%(2002年度比) 物流段階でのCO ₂ 排出量削減10%(2002年度比) 「使用済み製品部品」回収体制確立と導入 同左継続	15
電力消費量の削減3%(2001年度比) CO ₂ 排出量の削減3%(2001年度比)	電力消費量の削減10%(2001年度比) CO ₂ 排出量の削減10%(2001年度比)	13
廃棄物の再資源化率95% 紙使用量の削減10%(2001年度比) 再生紙利用率80% マテリアルバランスの実態把握	廃棄物の再資源化率98% 紙使用量の削減30%(2001年度比) 再生紙利用率95% マテリアルバランスの把握精度向上 (材料・副資材のインプット/アウトプット分析)	14
廃棄物の最終埋立処分量5%	廃棄物の最終埋立処分量2%(ゼロエミッション達成)	14
事務用品のグリーン購入比率90% グリーン調達ガイドラインの作成・試行 購入資材の包装の改善(通い箱化,減量化,材料変更等)	事務用品のグリーン購入比率100% 生産材グリーン調達比率50% 同左継続	17
環境ラベル認証製品売上高比率20%	環境ラベル認証製品売上高比率30%	16
環境ラベル認証製品開発件数比率60%	環境ラベル認証製品開発件数比率80%	16
LCA手法の習得と重点製品での試行	LCA分析手法実施件数比率10%	16